

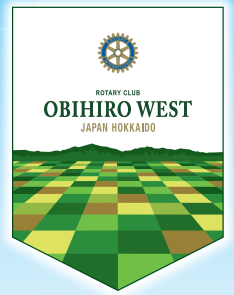


帯広西ロータリークラブ

第1996回例会

会報

2013.5.16



■RI第2500地区テーマ■

心と心、笑顔と笑顔、今奉仕のために行動を起こそう



■クラブ・テーマ■

学ぼうロータリー、訪ねようロータリークラブ

5月結婚祝、誕生祝

谷協会員より披露

・結婚祝	千葉 清孝	会員	1970. 5. 30
	川田 章博	会員	1976. 5. 29
	柳沢 一元	会員	1986. 5. 31
	丸崎 茂	会員	1990. 5. 20
	工藤 正宏	会員	1993. 5. 22
	内海 仁司	会員	2007. 5. 10

・誕生祝	酒井 忠之	会員	上垣香世子	会員
	内海 仁司	会員	深澤 知博	会員
	飯田 正行	会員	堂山 啓太	会員

再生することに捧げようという考えであった。(中略)
 あとがき：四つに分けて緑へのアプローチを試みたが、何れも森造りは時間のかかる事は明らかで実生した木が一人前の表情を見せるまでは二百年から三百年のサイクルを要し、針葉樹でも丸百年で漸く壮年の風貌となる。途方もなく長い時のスケールによって森の林相が安定してゆく。老木が倒れ新しい木が次を担う。この繰り返しを、営みを続けながら、自然の物語はゆっくりと回転している。

私は今手をかけている。また手をかけようとしている森林を後世に引き継ぐ責任を企業サイドからも個人としてのロータリーの精神分野からも、ささやかな緑への一奉仕者として考えたい。

これは、この小さなロータリアンが自分の未来への評価であり社会的に残して行こうとする具体的な人生の歩みであると信じている。

当然のことではあるが、地球上に生命を持つものは人間と動植物である。森と人間は絶えることなく共存して行かねばならない。私はいつも森と対話をする。そして、その森をいつも良きパートナーとして「行雲流水」の如く歴史を静かに刻み、確かに地図に残し得たことをいつの日か天空から確かめたいものと思っている。

私も森造りに今後とも頑張っ参ります。以上会長報告と致します。

乾杯の音頭

鈴木 享会員

ご結婚おめでとう御座います。末長くお幸せに。誕生日の方に

“諸人よ、思いしれかし己がみの誕生日は母苦難の日”
 お母さんに感謝をする日です。おめでとう御座います。

会長報告

川田会長

久しぶりに太陽も見られ桜も咲き暖かい日に成りました。

本日は私の父チャータメンバーで有り、又元西クラブ川田淳9代目会長の一周忌に当たり故人がこよなく愛した森の創成についてお話をします。我社は池田町に「池田の森」450haを所持しておりますが、父の記念にこの度「じゅんの森」に呼び方を変えさせて頂きました。1998年発行「私のささやかな奉仕活動」私の父が職業奉仕委員長の時に書いた本の中から一節を紹介させて頂きます。



川田 淳 9代会長

「森の創成・二百年の育み」川田 淳

はじめに：そこにある柳の小枝を手折って小さな命の芽吹きを願い心を込めて大地に差し込む。このささやかな行動から森造りは始まる。

昭和18年、日増しに戦争は敗戦の色濃く、鉄の船は木造船に変わっていった。旧家の裏山にそそり立つ原始の樹林の優良木は刻印を押され、召集令状を受けた兵士と同じ運命をたどってお国に殉じた。それにもまして私は、昭和32年、会社の創業に当たって、残されていたこの天然林を皆伐採して資本金に充ててしまった。背に腹は代えられぬ、お金がほしかったのである。広がった灰色の空の下で切り株に腰を下ろしてまわりに目を移す。



川田 淳 9代会長

一片の緑陰も無くなり、寂寞とした跡地を空っ風が散乱した枝・葉を震わせて吹き抜けて行く時、その風音の中から私は切り株たちの悲痛な叫び声を聞いたような気がした。そして大変なことをしてしまったという罪悪感が私を襲った。それは、幼い頃、畑にするために焼き払われた原野のあちこちに、真っ黒に焼けた木々の点在する光景を目にした時と折り重なって虚脱状態に陥ったまま、立ち上がるまでに時間を要した。

やがて私の心の奥底に少しずつ芽生えてきたのは、せめてもの罪滅ぼしに、これから先ままたらぬ人生ではあるが森を

会務報告

・帯広西RC、夜間例会開催のご案内
 日時 5月30日(木)午後6時30分
 場所 北海道ホテル

・2013～2014年度ガバナー事務所より岡田会員に委嘱状が来ております。

委嘱状 A. リソースサポート委員会
 B. グローバル補助金・パッケージ補助金チーム
 地区のロータリー活動にご奉仕下さいますよう委嘱します。

ニコニコ献金

柳沢一元会員より披露

川田 章博会員 前週の移動例会多数のメンバー参加頂き有難う御座いました。
 齊藤 憲生会員 次年度第1回クラブ協議会無事終わりました。
 奥田 頼昌会員 本日は次年度委員会別運営会議です。宜しくお願ひ致します。
 江口 文隆会員 本日26回目の結婚記念日でニコニコさせていただきます。
 岡田 武稔会員 5月1日から1週間インドネシアへ小船井PG達と行ってきました。特にスンバ島の学校訪問は30年前までは、首狩り族が住んでいた島です。
 佐々木和彦会員 先週の移動例会多くの方々のお出席有難う御座いました。又、会議室を提供してくれた深澤会員に感謝申し上げます。
 川上 哲平会員 森緑の会のゴルフコンペで40回目のエイジシュート達成。スコアは78でした。
 内海 仁司会員 医師会十五日会でつどい賞を頂きました。誕生目祝及び結婚祝ありがとうございます。



会長 川田 章博
 幹事 大友 広明

副会長 岡田 武稔
 副会長 古田 敦則

会場監督理事 上垣香世子
 プログラム委員理事 河西 智子

発行：広報委員会
 委員長 鈴木 享 (副)本田美喜男



(Attend at the Rotary Club, and let's enjoy a rotary)

「ロータリークラブに出席し、ロータリーを楽しもう」

クラブテーマ

□プログラム

「次年度委員会別運営会議」

次年度会長 齊藤 憲生会員



伝統ある西ロータリークラブ第42代会長に就任させて頂き大変光栄に思っていると同時に、一年間のクラブテーマを次のようにいたしました。

「ロータリークラブに出席し、ロータリーを楽しもう」

(Attend at the Rotary Club, and let's enjoy a rotary)

私はロータリーに入会し21年が経ちました。いつの間にか入会順が上から15番目と古手になりましたが、毎週、ロータリーに出席し、イベントに参加し、友と話をし、笑って楽しんで… しかし、いつも“ロータリーとは何ぞや”と、自分に問いかけています。今現在、ロータリークラブは私の生活のリズムの中心であって、恐ろしく考えたくもありませんが、ロータリーを退会したら、きっと心に風穴が空いた様なそんな気持ちになると思います。

【私のロータリーの原点】

- 1) 会員増強
- 2) 社会奉仕
- 3) 会員相互の互惠関係、更にそれを発展させ、職業によって社会に貢献する。
- 4) 親睦

当然友は一人でも多い方が良い訳で、その意味では会員増強はかせません。入会を勧める時に、今のロータリークラブは社会に対してのピーアールが多少不足していて、残念ながら奉仕の言葉だけでなかなか他人を説得しにくく、入会を勧めるための理由付けが多少不足している感は否めません。

ここで社会奉仕の出番です。広く社会に打って出て、ロータリークラブの存在を知らしめ万人に納得してロータリーに入会していただく必要性を痛感しています。

そして入会していただいた暁にはスポンサー会員の影響力は重大であり、新入会員が何か一つでも身になる楽しい物があれば納得してくれますし、ロータリーを続けられます。これは既存の会員も同じで、少し堅い卓話をしているも「今、友と共にいるんだ」そんな連帯感、思いがあればロータリーは続けられます。更に家族の存在、自分が無事に仕事をできているのも家族がいるお陰であり、そんな事を楽しく意識させてくれるのが親睦と思っています。

RI2500地区の葎本正美ガバナーが、“前年度を踏襲しない”と話していましたが、私も基本的には賛成ですが、事ある度に私は“温故知新”と言う言葉を使って来ました。相反しているように感じる二つの言葉ですが、自分の考えをしっかり持ち、ロータリーの良い所を自分なりにディフォルメして、ロータリーを実践していけば良いのかなと思っています。

街で友を見かけたら“オーイ”と声掛けする、そんなロータリーの原点に立ち返る一年になればと思っています。皆さんと共に一年間、ロータリーを楽しみましょう。記憶に残る年度になるように、皆様の絶大なるご協力、どうぞ宜しくお願いいたします。